

学校だより  
第31号

# 報徳

R 2.11.18  
校長 松下 公博

思いやりをもって、優しい言葉を

〜炭治郎くんがうつつするかな?〜

十一月に入り、朝夕寒さを感じるようになってきました。二学期もゴールが見えてきました。これから子ども達も学習のまとめに入ります。十月の全校集会では、今話題のあのことに触れながらこんな話をしました。

先月の生活目標は「本を読もう」でした。十月は時間が無くて読めなかったのですが、今「鬼滅の刃」を読んでいます。まだ読み始め

たばかりですが、とても人気がありますね。少し読んでみて、炭治郎君の人気の秘密を考えてみました。それは、強くてカッコいいだけではなく、優しい心にあふれているところだと思いました。これからどんな活躍をするのか楽しみにして読み進めたいと思います。

さて、新型コロナウイルス感染症がなかなか収まりません。先日は市内の学校でもクラスターが発生しました。身近なこととなり、いつ誰が感染してもおかしくありません。先日、皆さんの家の人に向けてお便りを出しました。それを、言葉を易しくして読みたいと思います。

『新型コロナウイルスに感染したある方が、退院後にこんなことを語っておられました。入院している間、ずっと不安と恐怖で心が押しつぶされそうでした。それを救ってくれたのは、「病気に負けるなよ、絶対よくなれ。」「また一緒においしものを食べに行こう。』という知り合いからの言葉と「あなたを必ず助けます」と言って一生懸命に治療にあたってくれた病院の皆さんでした。世の中には、感染して苦しんだり、感染が疑われて不安な思いでいる方に対して、優しくない言葉を言ったり、本当のことではない話を言ったりする人がいます。しかし一方で、感染した人やその家族を励まし、よくなることを願っている人もたくさんいます。「かかったのは、誰だろう。」「より「かかった人はきついだらうね。」「感染させられたら迷惑だ。」「より「お互い様だから。」と

この話をした後、先生は何巻まで読んでいますか?」などフレンドリーに尋ねてくる子どももいました。時には流行に乗って童心に触れてみるのもいいものです。

た。それを救ってくれたのは、「病気に負けるなよ、絶対よくなれ。」「また一緒においしものを食べに行こう。』という知り合いからの言葉と「あなたを必ず助けます」と言って一生懸命に治療にあたってくれた病院の皆さんでした。世の中には、感染して苦しんだり、感染が疑われて不安な思いでいる方に対して、優しくない言葉を言ったり、本当のことではない話を言ったりする人がいます。しかし一方で、感染した人やその家族を励まし、よくなることを願っている人もたくさんいます。「かかったのは、誰だろう。」「より「かかった人はきついだらうね。」「感染させられたら迷惑だ。」「より「お互い様だから。」と

いう言葉が聞かれる世の中だと、どんなに安心でしょうか。』

今、この時代に竈門炭治郎くんがいたら、どんなことをしたでしょうか。きっとウイルスをやっつける方法を探して一生懸命戦いながら、感染した人や不安な思いでいる人に対して思いやりをもって、優しい言葉をかけるのではないのでしょうか。みなさんも炭治郎くんのように人の辛い気持ちを考えて行動できる人でいてください。

この話をした後、先生は何巻まで読んでいますか?」などフレンドリーに尋ねてくる子どももいました。時には流行に乗って童心に触れてみるのもいいものです。

ありがとう

いづらきった

感染のリスクレベルが下がらない状況により、今年度の「愛校セーブル」は中止となりました。これまで愛校委員さんを中心に開催に向けて何度も話し合いを重ねてこられました。様々に工夫をした感染防止対策が計画されていましたが、中止ということになり、大変残念に思います。「子ども達に、少しでも楽しい思い出をつくってあげたい」という思いで取り組んでいただきました担当の皆様には感謝申し上げます。この思いは今後のPTA活動の充実に繋がっていくものと信じております。